

東京証券取引所 スタダード市場

証券コード：6405

2026年3月期 第3四半期決算補足説明資料



2026年 2月 13日 | 鈴茂器工株式会社

目 次

1. 2026年3月期 第3四半期連結決算概要 P.3 ~ P.14
- ✓ 業績サマリー
 - ✓ 前期比 業績概要
 - ✓ 国内・海外 売上高比率
 - ✓ 国内・海外 四半期売上高推移
 - ✓ 国内 業態別自社機売上高
 - ✓ 海外 地域別売上高
 - ✓ 前期比 営業利益
 - ✓ 売上高・営業利益の推移
 - ✓ 連結貸借対照表

2026年3月期 第3四半期連結決算概要

2026年3月期 第3四半期連結決算：業績サマリー

売上高

11,272百万円

△6.6%

国内 7,365百万円 △10.4%

海外 3,907百万円 +1.7%

営業利益

430百万円

△75.1%

■ 前期比増減率

営業利益率

3.8%

△10.5pp

■ 売上高

- 国内は2Qから大手ホテルチェーン店へのご飯盛付けロボットFuwaricaの新規導入が本格化する等、新規開拓は進捗しており、懸念であった前期4Qから続くコメ価格高騰の事業者への影響は回復傾向にあるものの、大手チェーンの入れ替え需要の一巡により減収
- 海外は北米において大手チェーンへの大型案件が計画より遅れるも、東アジアにおける大手回転寿司チェーンを中心とした日系企業進出による需要増

■ 営業利益/営業利益率

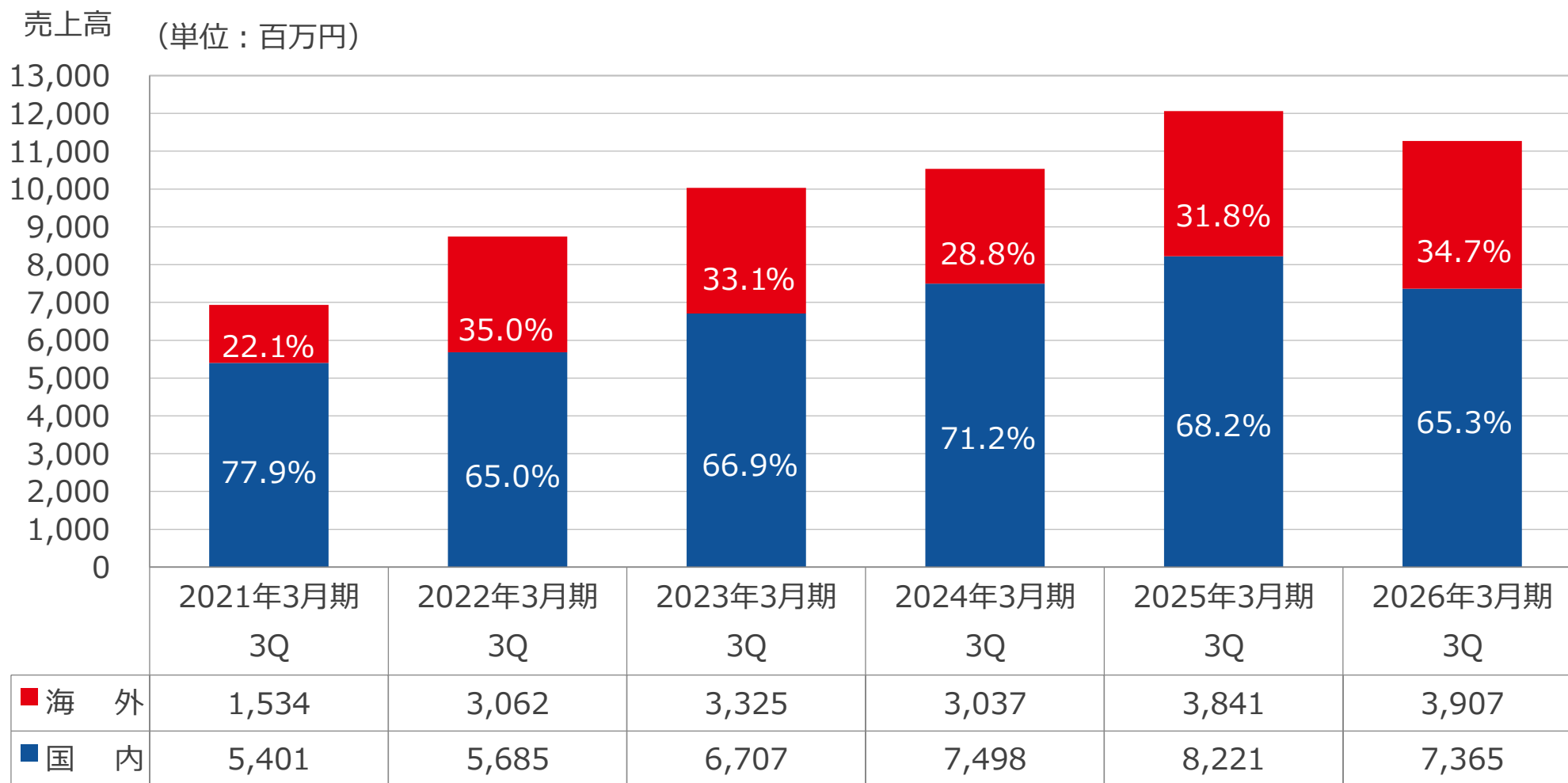
- 売上高の減少に加え、中期経営計画「Next 2028」で掲げた事業基盤構築に伴う人員増強、人事制度の改定等による人的投資を中心とした先行投資、資本業務提携解消に伴う想定外のコストが発生したことで販管費が増加し、大きく減益

2026年3月期 第3四半期連結決算：前期比 業績概要

(単位：百万円)

	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期		
		3Q累計実績	増減額	前期比
売上高	12,062	11,272	-790	-6.6%
国内	8,221	7,365	-855	-10.4%
海外	3,841	3,907	+65	+1.7%
売上原価	5,906	5,920	+14	+0.2%
売上総利益 (利益率)	6,155 (51.0%)	5,351 (47.5%)	-804 (-3.5%)	-13.1%
販売費及び一般管理費 (販管費率)	4,427 (36.7%)	4,920 (43.7%)	+492 (+7.0%)	+11.1%
営業利益 (利益率)	1,727 (14.3%)	430 (3.8%)	-1,297 (-10.5%)	-75.1%
経常利益 (利益率)	1,733 (14.4%)	424 (3.8%)	-1,308 (-10.6%)	-75.5%
当期純利益 (利益率)	1,237 (10.3%)	153 (1.4%)	-1,083 (-8.9%)	-87.6%

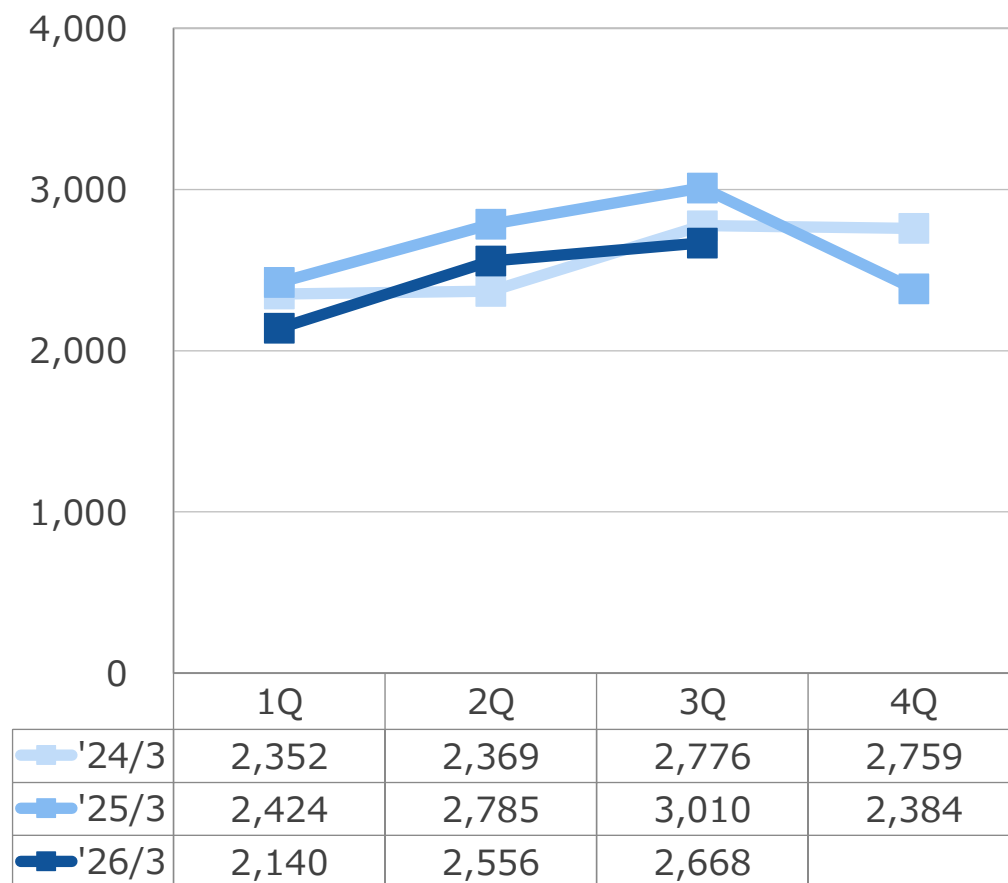
2026年3月期 第3四半期連結決算：国内・海外 売上高比率



2026年3月期 第3四半期連結決算：国内 四半期売上高推移

(単位：百万円)

■ 国内売上高



国内の概況

【外部環境】

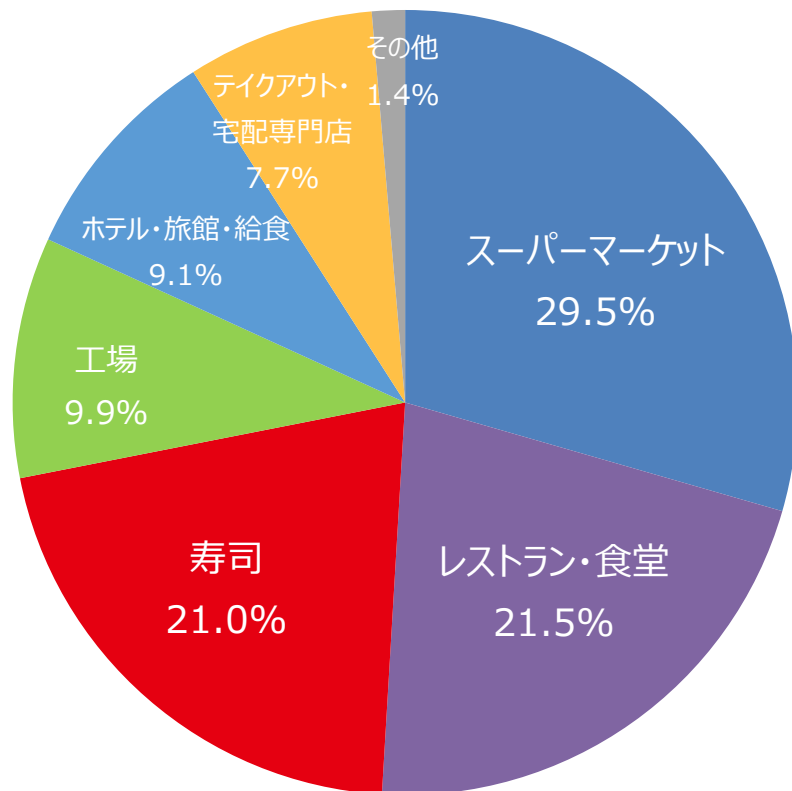
- 人手不足や人件費高騰を背景とした省人化ニーズは継続
- 前期4Qから続くコメ価格高騰による事業者の設備投資計画の延期等への影響は徐々に回復

【売上高の動向】

- ご飯盛付けロボットFuwaricaの新規顧客開拓は進捗しているものの、寿司業態やレストラン・食堂業態における大手チェーン店の入替需要の一巡や、スーパーマーケット業態における増設需要の減少等により減収
- 前年9,11月に発売した寿司ロボットの新製品による入替が4Qから来期に向けて拡大、ご飯盛付けロボットFuwaricaによる新規顧客開拓やソリューション製品の拡販を進めていくことで売上を積み上げていく

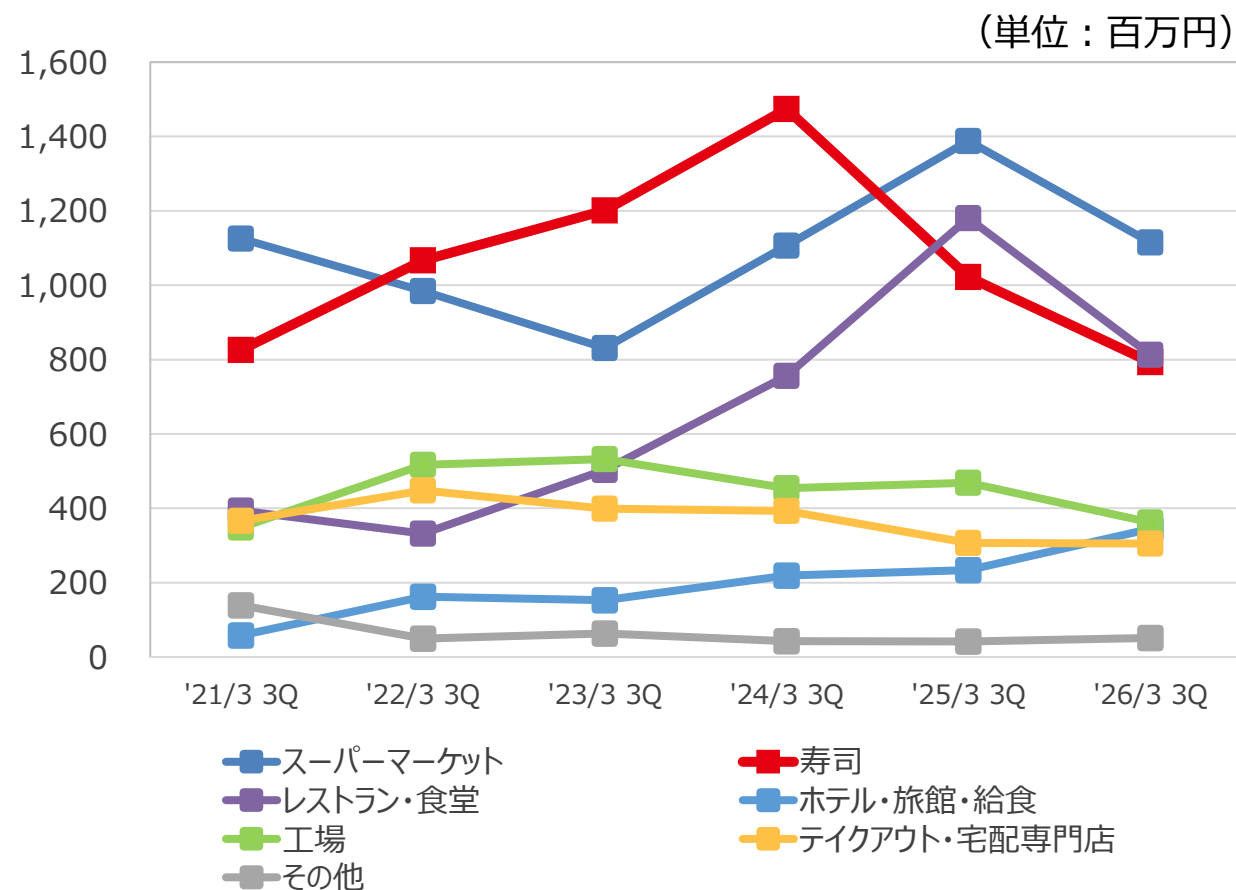
2026年3月期 第3四半期連結決算：国内 業態別自社機売上高

■ 国内 業態別売上高比率
(2026年3月期第3四半期)



※ 業態別売上高比率は国内自社機売上高に基づき算出

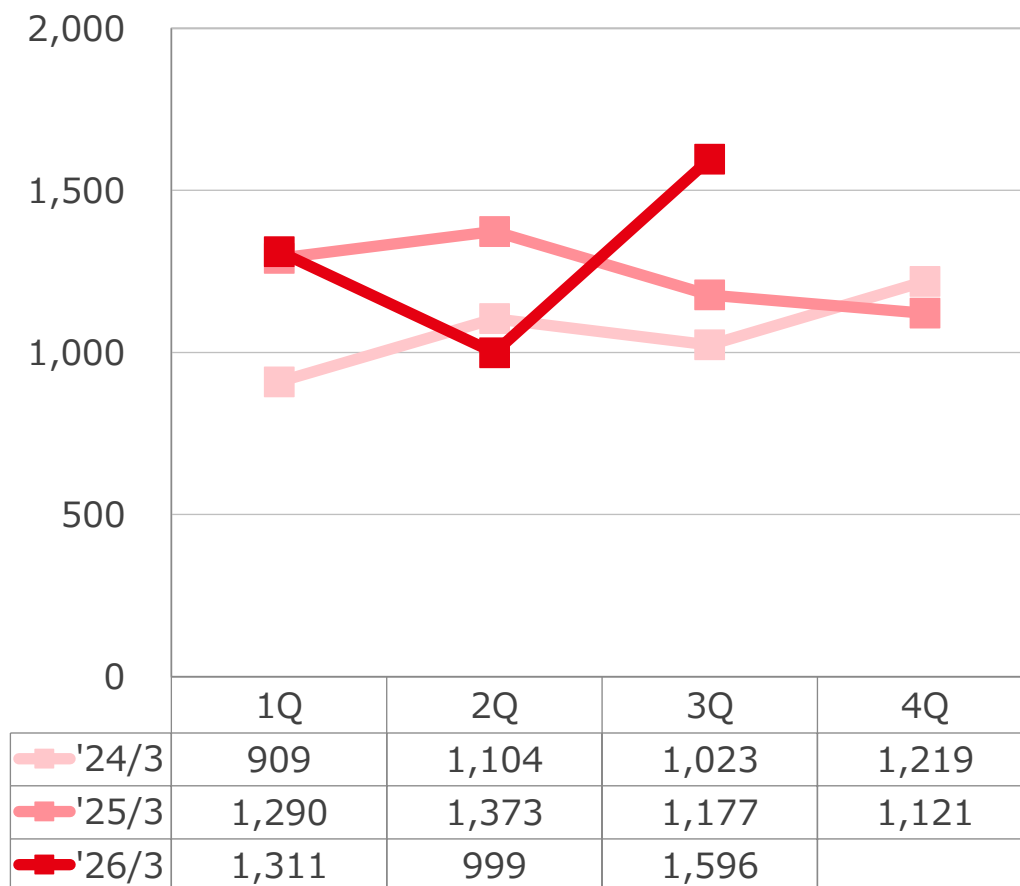
■ 国内 業態別売上高推移



2026年3月期 第3四半期連結決算：海外 四半期売上高推移

(単位：百万円)

■ 海外売上高

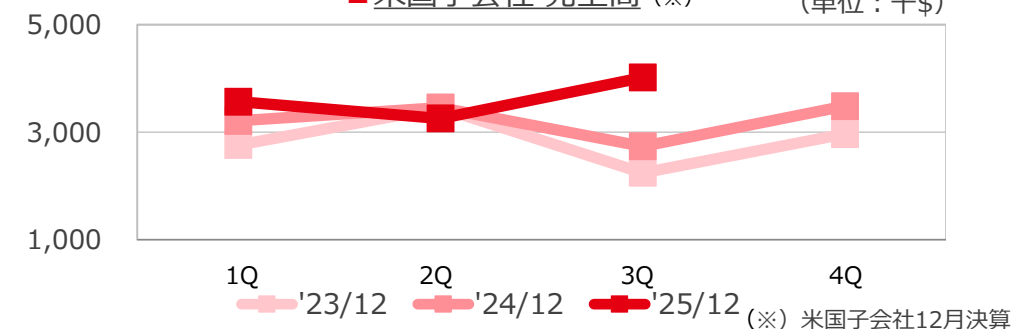


海外の概況

【地域別の動向】

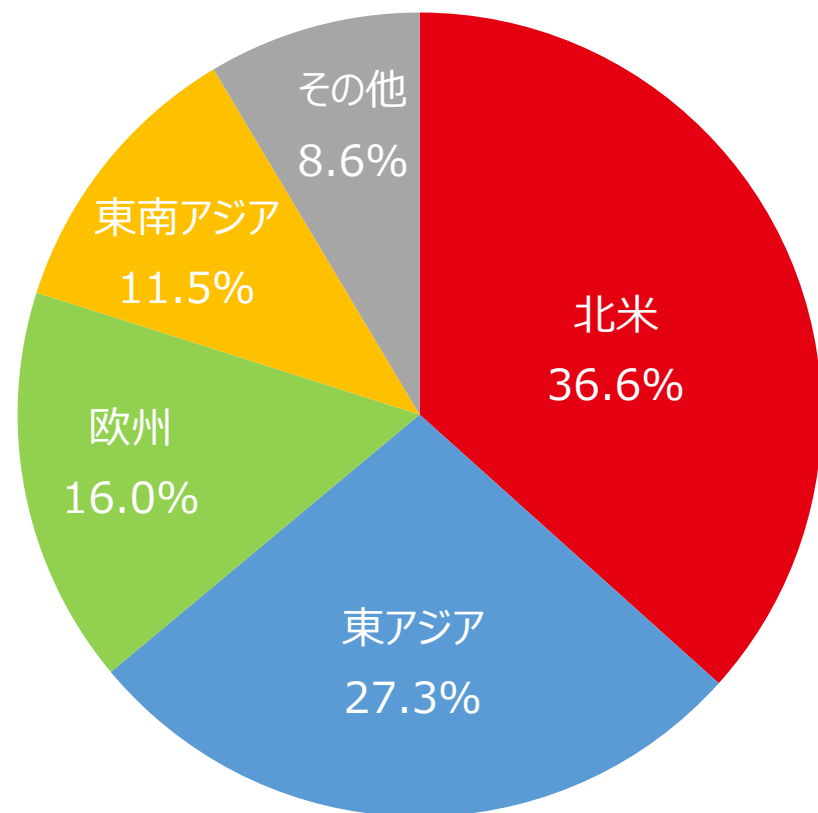
- 北米は市場における機械化や省人化の需要は高い水準で推移しており、計画より遅れていた大手チェーン向けの大型案件のうちテイクアウトチェーン向けおにぎり成形機については4Qで概ね完了見込み
- その他地域について、東アジアでの大手回転寿司チェーンを中心とした日系企業進出による需要増、欧州は新製品のシート出し海苔巻きロボットの寿司テイクアウトチェーンへの導入拡大や、販売店再編推進により良化見込み。引き続き、売上増を目指す

■ 米国子会社 売上高 (※) (単位：千\$)



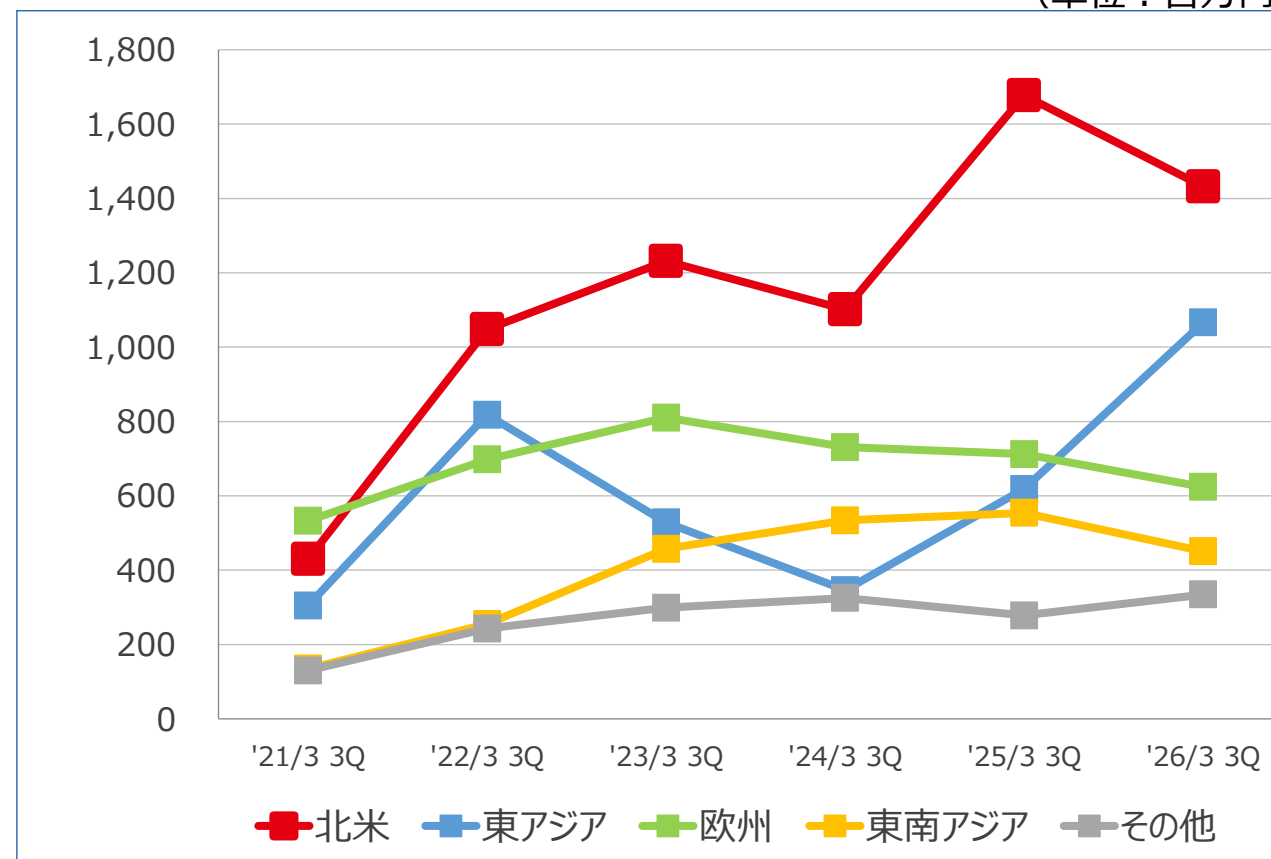
2026年3月期 第3四半期連結決算：海外 地域別売上高

■ 海外 地域別売上高比率
(2026年3月期第3四半期)

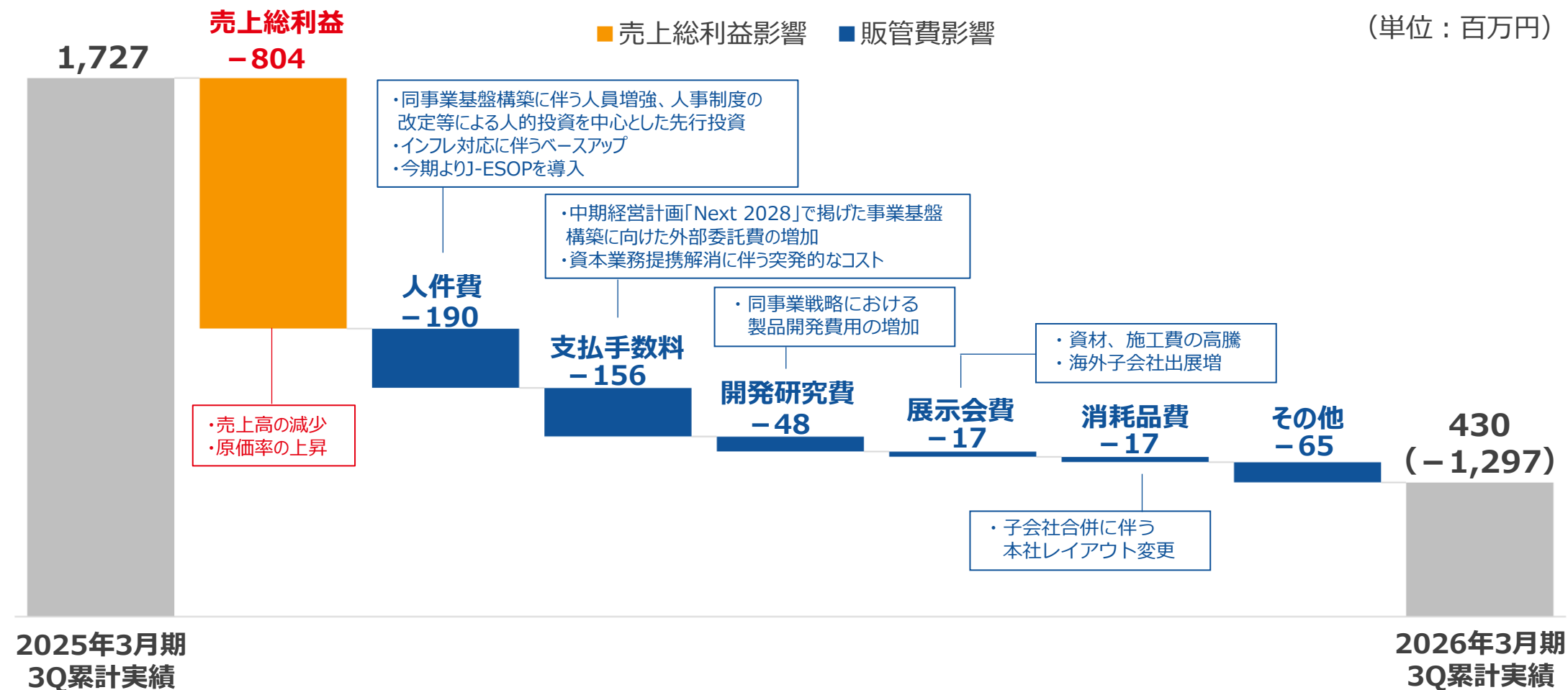


■ 海外 地域別売上高推移

(単位：百万円)



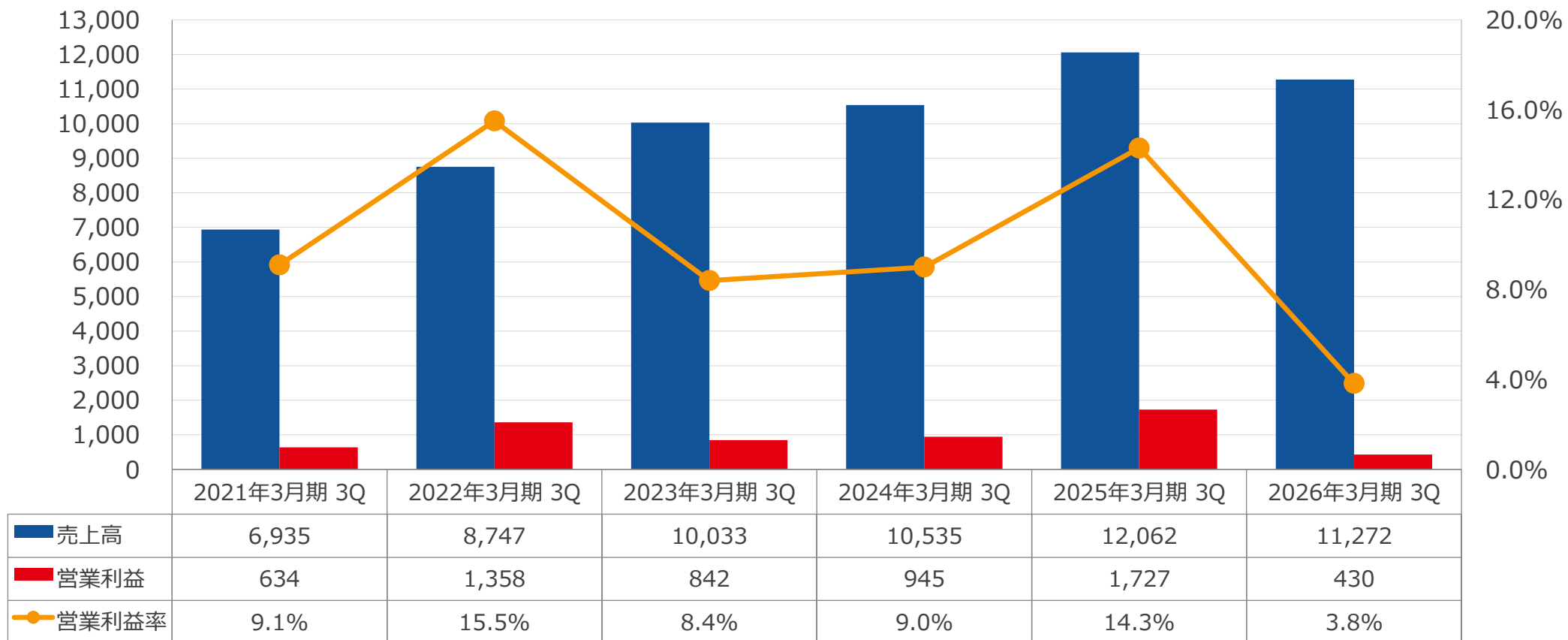
2026年3月期 第3四半期連結決算：前期比 営業利益



2026年3月期 第3四半期連結決算：売上高・営業利益の推移

売上高 / 営業利益
(単位：百万円)

営業利益率



2026年3月期 第3四半期連結決算：連結BS 資産の部

(単位：百万円)

	2025年3月期 期末		2026年3月期 3Q		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	前期比
流動資産合計	10,841	55.7%	8,811	46.0%	-2,030	-18.7%
現金及び預金	5,597	28.7%	2,621	13.7%	-2,975	-53.2%
売上債権	2,039	10.5%	2,368	12.4%	+329	+16.1%
たな卸資産	2,819	14.5%	3,165	16.5%	+346	+12.2%
その他	385	2.0%	655	3.4%	+270	+70.0%
固定資産合計	8,630	44.3%	10,362	54.0%	+1,731	+20.1%
有形固定資産	7,028	36.1%	8,623	45.0%	+1,595	+22.7%
無形固定資産	518	2.7%	591	3.1%	+73	+14.1%
投資その他の資産	1,084	5.6%	1,146	6.0%	+62	+5.8%
資産合計	19,471	100.0%	19,173	100.0%	-298	-1.5%

2026年3月期 第3四半期連結決算：連結BS 負債純資産の部

(単位：百万円)

	2025年3月期 期末		2026年3月期 3Q		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	前期比
負債合計	3,502	18.0%	6,762	35.3%	+3,259	+93.1%
流動負債	2,007	10.3%	3,330	17.4%	+1,322	+65.9%
固定負債	1,494	7.7%	3,431	17.9%	+1,936	+129.6%
純資産合計	15,969	82.0%	12,411	64.7%	-3,557	-22.3%
株主資本	15,423	79.2%	11,980	62.5%	-3,442	-22.3%
その他包括利益累計額	505	2.6%	394	2.1%	-110	-21.8%
非支配株主持分	39	0.2%	35	0.2%	-4	-11.0%
負債純資産合計	19,471	100.0%	19,173	100.0%	-298	-1.5%



IR・取材等のお問い合わせ先

鈴茂器工株式会社 経営企画部

TEL 03-3993-1396 | **Email** ir-info@suzumo.co.jp

本資料の業績計画ならびに将来予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。そのため諸要因の変化により実際の業績は大きく異なる可能性があります。